

人 チーム 制度



“働き続けられる会社”を目指した女子会

(株)千代田コンサルタント 松元涼子

(株)千代田コンサルタントでは、近年、女性社員が増えてきたことにもない、社内制度の充実化に取り組み始めています。今回は、労働組合でも委員をされている景観デザイン室の松元課長補佐にお話を伺いました。

プロフィール

氏名：松元 涼子
 所属：社会環境事業部
 景観デザイン室
 経歴：2007年 千代田C入社

今回の“女子会”開催のきっかけは？

弊社では、近年、新入社員採用が多くなってきており、女性社員の雇用も増加しております。東京の部署では、10年前には、数人しかいなかった女性社員も、各部署に女性社員が配属され、皆さん一生懸命仕事に取り組んでいます。若手社員が増える中、もっと働きやすい会社、働き続けられる会社を目指していかなければと考えるようになりました。毎年、女性社員が入ってくると、話しやすい・相談しやすい環境を作ろうと皆で“女子会”を開くようになっておりました。今年、制度の改善を目指し、女性社員を対象に意見収集を目的としたアンケート調査を行い、“女子会”で話し合いました。

労働環境の改善については労働組合でも重要課題として挙がっていた項目でもあったため、今回の女子会で挙がった意見をふまえて、労働環境の改善を目指したいと考えています。

社内制度の充実化を目指す上での悩みはありましたか？

世間一般的な社内制度といえば、在宅勤務、時短勤務、フレックスなどが挙げられますが、弊社の社員の皆さんにとって何が一番必要なのか分からないといったことがまずスタートでした。生産性を落とすことなく長時間労働を改善するにはどうすべきか、日々悩みながら実際に働いている社員の皆さんにヒアリングするのが一番よいと思い、まずは女性社員を対象にしました。



開催前に準備したことは？

当日の意見交換を充実したものにするために、事前に女性社員へのアンケート調査を実施しました。アンケート調査の内容は、建コン関東支部女性の会WGのアンケート内容を参考にさせていただきました。

開催当日の雰囲気は？

今回は東京勤務の女性社員を対象に女子会を開催しました。当日は12名が参加し、ホテルディナーに舌鼓を打ちながら和やかな雰囲気での始まりました。年齢や勤務年数に関係なく意見交換ができたと思います。まずは、フリータイムで若手から最近の勤務状況や仕事の悩みなどを聞き、その後に事前に行ったアンケートの結果をもとに、参加者からヒアリングを行いました。

事前アンケートの結果では、「ライフイベント後も千代田Cで働き続けたい」という回答が多かった一方、働き続ける上での不安を持っている人が多いことが分かりました。そこで、在宅勤務を導入すれば働けるか？など聞いたところ、「少人数の課では、在宅勤務を導入すると却って人手不足になる。導入する場合は、在宅勤務を取得できる条件に制限を設けた方が良い。」とか、「ライフイベントに合わせた働き方ができるよう、業務量に適した人材を確保してほしい。」などの切実な意見も聞かれました。食事をしながらの女子会という雰囲気が率直な意見を引き出したのではないかと思います。

今後の展望を教えてください。

女性社員が長く働きたいと思えるような会社を目指すことは、男性社員の方の職場改善にもつながります。また、産休・育休だけでなく、今後高齢化が進み、誰もが「介護」に直面する時代が到来することから、社内制度の充実化は喫緊の課題となっています。

20代の女性社員が多くなっていることから、ライフイベント後の働き方は、本人だけでなく会社にとっても大きな問題です。会社側もこうした状況は把握しており、会社と社員と協力して社内制度の充実化を目指したいと思います。

